安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Innershield® NR®-232

供給者の会社名称 リンカーンエレクトリックジャパン株式会社

住所 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新

羽町424-5

電話番号 045-834-9651 FAX番号 045-834-9652

メールアドレス info@lincolnelectric.co.jp

推奨用途 セルフシールドフラックスコアードアーク溶接

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口)区分4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A

発がん性 区分1A 生殖毒性 区分1A 生殖毒性・授乳影響

授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器

神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器

神経系 腎臓)

環境有害性 水生環境有害性 短期 (急性)区分3

水生環境有害性長期(慢性)区分3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当し

ないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報 危険

飲み込むと有害 強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ 呼吸器、神経系の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、

神経系、腎臓の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わな

いこと。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを 吸入しないこと。

妊娠中、授乳中は接触を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、 手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受ける こと。

眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。

保管施錠して保管すること。

応急措置

廃棄

内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村

の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	CAS亞歐爾方
鉄	50 ~ < 100%	Fe	対象外(_	7439-89-6
			元素)		
三酸化二鉄(III)	5 ~ < 10%	Fe2O3	(1)-357	既存	1309-37-1
アルミニウム	1 ~ < 5%	Al	対象外(_	7429-90-5
			元素)		
酸化リチウム	1 ~ < 5%	Li2O	(9)-2424	既存	12057-24-8
炭酸リチウム	1 ~ < 5%	Li2CO3	(1)-154	既存	554-13-2
マグネシウム	1 ~ < 5%	Mg	対象外(_	7439-95-4
			元素)		
酸化マグネシウム	1 ~ < 5%	MgO	(1)-465	既存	1309-48-4
二酸化ケイ素	0.1 ~< 1%	SiO2	(1)-548	既存	7631-86-9
マンガン	0.1 ~< 1%	Mn	対象外(_	7439-96-5
			元素)		
フッ化バリウム	0.1 ~< 1%	BaF2	(1)-82	既存	7787-32-8
フッ化ストロンチウム	0.1 ~< 1%	SrF2	(1)-347	既存	7783-48-4
二酸化チタン	0.1 ~< 1%	TiO2	(1)-558	既存	13463-67-7
石灰石	0.1 ~< 1%	特定でき	-	_	1317-65-3
		ない			
ケイ素	0.1 ~< 1%	Si	対象外(_	7440-21-3
			元素)		

既存 |酸化マンガン(II) 0.1 ~< 1% MnO (1)-475 1344-43-0 分類に寄与する不純物及 情報なし び安定化添加物 名称等を通知すべき危険物及び有 アルミニウム及びその水溶性塩(政 労働安全衛生法 害物(法第57条の2、施行令第 令番号:37)(10%未満) 18条の2第1号、第2号別表第 9) マンガン及びその無機化合物(政令 番号:550)(10%未満) 結晶質シリカ(政令番号:165の2)(10%未満) 酸化チタン(IV)(政令番号:191) (10%未満) 酸化鉄(政令番号:192)(10%未満) 4. 応急措置 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 吸入した場合 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、 手当てを受けること。 皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこ ہ ط 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを 受けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、 手当てを受けること。 眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと 。次に、コンタクトレンズを着用していて容易 に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け ること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受 けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、 手当てを受けること。 飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、 手当てを受けること。

5. 火災時の措置 適切な消火剤

> 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

棒状注水。

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに 安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁 止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マ スクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクな ど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムな

どに回収する。

二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに除くととも

に消火剤を準備する。

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリッ

プ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

環境に対する注意事項

取扱い 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は 技術的対策

、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のため

の設備を設置する。

安全取扱注意事項 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わな

いこと。

環境への放出を避けること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしな

いこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用す

妊娠中、授乳中は接触を避けること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを

吸入しないこと。

使用前に取扱説明書を入手すること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。 衛生対策 情報なし

保管 安全な保管条件 施錠して保管すること。

接触回避

安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度	(ばく露限界	値、生物学的ばく露指標)
		日本産衛学会		ACGIH

三酸化二鉄(III) 未設定 【粉塵許容濃度】(第 TWA 5 mg/m3(R), S	TEL -
2種粉塵)	
吸入性粉塵1mg/m3	
総粉塵4mg/m3	
アルミニウム 未設定 【粉塵許容濃度】(第 TWA 1 mg/m3(R), S	TEL -
1種粉塵)	
吸入性粉塵0.5mg/m3	
総粉塵2mg/m3	
酸化リチウム 未設定 未設定 未設定	
炭酸リチウム 未設定 未設定 未設定	
マグネシウム 未設定 未設定 未設定	
酸化マグネシウム 未設定 未設定 TWA 10 mg/m3(I), 9	TEL -
二酸化ケイ素 未設定 未設定 未設定	
マンガン 0.2mg/m3(Mnとして) 0.2mg/m3(Mnとして TWA 0.02 mg/m3(R), 0.1
、有機マンガン化合 mg/m3(I), STEL - (as	Mn)
物を除く) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
フッ化バリウム 未設定 未設定 TWA 2.5 mg/m3, ST	EL - (as
フッ化ストロンチウム 未設定 未設定 TWA 2.5 mg/m3, ST	EL - (as
二酸化チタン 未設定 0.3mg/m3; 【粉塵許容 TWA 10 mg/m3, STI	L-
濃度】(第2種粉塵)	
吸入性粉塵1mg/m3	
総粉塵4mg/m3	
石灰石 未設定 【粉塵許容濃度】(第 未設定	
3種粉塵)	
吸入性粉塵2mg/m3	
総粉塵8mg/m3	
ケイ素 未設定 未設定 未設定	
酸化マンガン(II) 未設定 0.2mg/m3(Mnとして TWA 0.02 mg/m3(R), 0.1
、有機マンガン化合 mg/m3(I), STEL - (as	
物を除く) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	, l

設備対策 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は

、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のため

の設備を設置する。

保護具 呼吸用保護具 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用す

ること。

手の保護具保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質 物理状態 形状

固体

色 臭い

融点/凝固点

沸点又は初留点及び沸点

範囲

可燃性

爆発下限及び爆発上限界 下限

/可燃限界

上限

引火点 自然発火点 分解温度

рΗ

動粘性率 溶解度

オクタノール/水分配係

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度 粒子特性

10. 安定性及び反応性 反応性

> 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物

不燃性 データなし

データなし

データなし

データなし データなし

データなし データなし 不燃性 データなし データなし データなし データなし データなし

データなし データなし

データなし データなし

本製品は通常の使用、保管、輸送の条件下では 非反応性である。

通常の条件下では材料は安定している。

通常の条件下ではない。

熱や汚染を避ける。

強酸、強酸化性物質、強塩基。

溶接およびろう付けやはんだ付けなどの関連プ ロセスから発生するヒュームやガスは、単純に 分類することはできない。これらの成分と量は 、接合や熱加工が施される金属、プロセス、手 順、および場合によっては使用される電極や消 耗品によって異なる。

労働者が曝される可能性のあるヒュームやガス の組成や量に影響を与えるその他の条件には、 溶接または加工される金属のコーティング(塗 料、メッキ、亜鉛メッキなど)、作業者の数と 作業エリアの容積、換気の質と量、ヒュームプ ルームに対する作業者の頭部の位置、大気中の 汚染物質の存在(清掃や脱脂作業から発生する 塩素化炭化水素の蒸気など)がある。

通常の作業で発生する分解生成物には、上述の ように、第3項に示した物質の揮発、反応、酸化 に加えて、母材や塗膜などから発生するものが 含まれる。

アーク溶接やろう付けの際に発生するヒューム には、溶接材料や母材に含まれる鉄、マンガン 、その他の金属の酸化物が含まれていることが 予想される。

ガス状および粒子状のフッ化物は、フッ化物を 含む消耗品やフラックス材料のヒュームに含ま れることがある。

ガス状の反応生成物には、一酸化炭素および二 酸化炭素が含まれることがある。

オゾンおよび窒素酸化物は、溶接時に発生する アークからの放射によって生成されることがあ る。

11. 有害性情報 急性毒性

経口

区分3:フッ化バリウム(毒性値=250mg/kg 出典:NITE),

フッ化ストロンチウム(変換値=100mg/kg

出典:Registered substances (ECHA))

区分4:炭酸リチウム(毒性値=525mg/kg 出典:NITE)

区分に該当しない:マンガン(出典:NITE),

二酸化チタン(出典:NITE),

三酸化二鉄(III)(出典:NITE),

二酸化ケイ素(出典:NITE),

ケイ素(毒性値=3160mg/kg 出典:NITE), 分類できない:マグネシウム(出典:NITE),

アルミニウム(出典:NITE)

データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石, 酸化リチウム

計算結果が1236.3544418mg/kgのため、区分4に

該当する。

区分に該当しない:二酸化ケイ素(出典:NITE), 炭酸リチウム(毒性値=2000mg/kg 出典:NITE)

分類できない:マンガン(出典:NITE),

マグネシウム(出典:NITE),

アルミニウム(出典:NITE),

二酸化チタン(出典:NITE),

三酸化二鉄(III)(出典:NITE),

フッ化バリウム(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE),

酸化マグネシウム(出典:NITE),

データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石,

酸化リチウム

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分 を含有するため分類できない。

(急性毒性(吸入:気体))

GHS定義による気体ではない。

(急性毒性(吸入:蒸気))

データ不足のため分類できない。

(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))

経皮

吸入

皮膚腐食性/刺激性

眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性

呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性

区分4:フッ化ストロンチウム(変換値=1.5mg/l 出典:Registered substances (ECHA)) 区分に該当しない:三酸化二鉄 (III) (出典:NI 分類できない:マンガン(出典:NITE), マグネシウム(出典:NITE), アルミニウム(出典:NITE), 二酸化チタン(出典:NITE), 二酸化ケイ素(出典:NITE), フッ化バリウム(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE). データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石, 酸化リチウム 計算結果が21.9545455mg/kgのため、区分に該当 しないが、毒性未知成分を含有するため分類で きない。 区分2:マグネシウム(出典:NITE) 区分3:マンガン(出典:NITE) 区分に該当しない:二酸化チタン(出典:NITE), 三酸化二鉄(III)(出典:NITE), 二酸化ケイ素(出典:NITE), 炭酸リチウム(出典:NITE) 分類できない:アルミニウム(出典:NITE), フッ化バリウム(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE), 酸化マグネシウム(出典:NITE), フッ化ストロンチウム(出典:Registered substances (ECHA)) データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石, 酸化リチウム

区分2:二酸化ケイ素(出典:NITE),
フッ化バリウム(出典:NITE),
酸化マグネシウム(出典:NITE)
区分2A:マグネシウム(出典:NITE)
区分2B:マンガン(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE),
炭酸リチウム(出典:NITE)
区分に該当しない:二酸化チタン(出典:NITE),
三酸化二鉄(III)(出典:NITE)
分類できない:アルミニウム(出典:NITE),
フッ化ストロンチウム(出典:Registered substances (ECHA))
データなし:酸化マンガン(II), 鉄, 石灰石,
酸化リチウム

眼区分2A+眼区分2B+眼区分2の成分合計が濃度限

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上 含有しないため、区分に該当しないが毒性未知 成分が濃度限界以上なので分類できない。

データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 区分に該当しない:炭酸リチウム(出典:NITE)

界(10%)以上のため、区分2Aに該当。

発がん性

生殖毒性

分類できない:マンガン(出典:NITE), マグネシウム(出典:NITE), アルミニウム(出典:NITE), 二酸化チタン(出典:NITE), 三酸化二鉄(III)(出典:NITE), 二酸化ケイ素(出典:NITE), フッ化バリウム(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE), 酸化マグネシウム(出典:NITE)。 データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石, 酸化リチウム 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分 を含有するため分類できない。 区分1A:二酸化ケイ素(出典:NITE) 区分2:二酸化チタン(出典:NITE) 区分に該当しない:マンガン(出典:NITE) 分類できない:マグネシウム(出典:NITE), アルミニウム(出典:NITE), 三酸化二鉄(III)(出典:NITE), フッ化バリウム(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE), 酸化マグネシウム(出典:NITE), 炭酸リチウム(出典:NITE), データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石, 酸化リチウム 二酸化ケイ素≥0.1%のため、区分1Aに該当。

※分類に寄与しない成分:

二酸化チタン(区分=区分2 出典:NITE) (生殖毒性)

区分1A:炭酸リチウム(出典:NITE)

区分1B:マンガン(出典:NITE)

分類できない:マグネシウム(出典:NITE),

アルミニウム(出典:NITE),

二酸化チタン(出典:NITE),

三酸化二鉄(III)(出典:NITE),

二酸化ケイ素(出典:NITE),

フッ化バリウム(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE),

酸化マグネシウム(出典:NITE),

データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石,

酸化リチウム

炭酸リチウム≧0.3%のため、区分1Aに該当。

(生殖毒性・授乳影響)

授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する 追加区分:炭酸リチウム(出典:NITE) 分類できない:フッ化ストロンチウム(出典:Registe red substances (ECHA)) データなし:マンガン(出典:NITE), マグネシウム(出典:NITE), アルミニウム(出典:NITE), 二酸化チタン(出典:NITE), 三酸化二鉄 (III) (出典:NITE), 二酸化ケイ素(出典:NITE), フッ化バリウム(出典:NITE), 炭酸リチウム≧0.3%のため、授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分に該当。

特定標的臓器毒性(単回 ばく露) 区分1:マンガン(臓器=呼吸器 出典:NITE), アルミニウム(臓器=呼吸器 出典:NITE), 三酸化二鉄(III)(臓器=呼吸器 出典:NITE), 炭酸リチウム(臓器=神経系 出典:NITE) 区分3:マグネシウム(臓器=気道刺激性 出典:NITE), 二酸化ケイ素(臓器=気道刺激性 出典:NITE), フッ化バリウム(臓器=気道刺激性 出典:NITE), 酸化マグネシウム(臓器=気道刺激性 出典:NITE), 炭酸リチウム(臓器=気道刺激性 出典:NITE)

分類できない:二酸化チタン(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE),

フッ化ストロンチウム(出典:Registered substances データなし:酸化マンガン(II), 鉄, 石灰石, 酸化リチウム

三酸化二鉄 (I I I) ≧1%のため、区分2(呼吸器)に該当。

炭酸リチウム≧1%のため、区分2(神経系)に該当

アルミニウム≧1%のため、区分2(呼吸器)に該当

0

区分1:マンガン(臓器=呼吸器、神経系 出典:NITE), アルミニウム(臓器=呼吸器 出典:NITE),

- 二酸化チタン(臓器=呼吸器 出典:NITE),
- 三酸化二鉄(III)(臓器=呼吸器 出典:NITE),
- 二酸化ケイ素(臓器=呼吸器、腎臓、免疫系 出典:NITE),

フッ化バリウム(臓器=骨、心血管系、神経系、腎臓、筋肉系 出典:NITE),

炭酸リチウム(臓器=神経系、腎臓 出典:NITE) 分類できない:マグネシウム(出典:NITE),

ケイ素(出典:NITE), 酸化マグネシウム(出典:NITE), フッ化ストロンチウム(出典:Registered substances (ECHA))

データなし:酸化マンガン(II),鉄,石灰石,酸化リチウム

三酸化二鉄 (I I I) ≧1%のため、区分2(呼吸器)に該当。

炭酸リチウム≧1%のため、区分2(神経系, 腎臓)に該当。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

誤えん有害性

12. 環境影響情報 生態毒性 水生環境有害性 短期(急性)

> 水生環境有害性 長期(慢性)

残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性

13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

汚染容器及び包装

アルミニウム≧1%のため、区分2(呼吸器)に該当。 データ不足のため分類できない。

区分2:炭酸リチウム(出典:NITE)

分類できない:マンガン(出典:NITE), マグネシウム(出典:NITE), アルミニウム(出典:NITE), 二酸化チタン(出典:NITE), 三酸化二鉄 (I I I) (出典:NITE), 二酸化ケイ素(出典:NITE), フッ化バリウム(出典:NITE), ケイ素(出典:NITE), 酸化マグネシウム(出典:NITE), データなし:酸化マンガン (I I),鉄,石灰石, 酸化リチウム (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限 界 (25%) 以上のため、区分3に該当。

区分2:炭酸リチウム(出典:NITE)

区分4:マンガン(出典:NITE),
マグネシウム(出典:NITE)
分類できない:アルミニウム(出典:NITE),
二酸化チタン(出典:NITE),
三酸化二鉄 (I I I) (出典:NITE),
二酸化ケイ素(出典:NITE),
フッ化バリウム(出典:NITE),
がイ素(出典:NITE),
がイネシウム(出典:NITE),
データなし:酸化マンガン (I I),鉄,石灰石,
酸化リチウム
(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限
界 (25%) 以上のため、区分3に該当。

情報なし 情報なし 情報なし データ不足のため分類できない。

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規 並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を 行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去 すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory Information

Not dangerous goods

by Sea

Marine Pollutant Transport in bulk Not applicable

according to MARPOL 73/78, Annex II, and the Not applicable

IBC code

Regulatory Information Not dangerous goods

by Air

国内規制 陸上規制 非該当

海上規制情報

非危険物

海洋汚染物質

非該当

MARPOL73/78付属書Ⅱ 非該当

及びIBCコードによる ばら積み輸送される液

体物質

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないこ

とを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損 、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの

防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該非

労働安全衛生法 (通知対象物質)

毒物及び劇物取締法

該当 非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

適用される主たる国内法令

労働安全衛生法

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第5 7条第1項、施行令第18条第1号、第2号別

表第9)

危険物・発火性の物(施行令別表第1第2号)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第5 7条の2、施行令第18条の2第1号、第2号

別表第9)

水質汚濁防止法 有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準

を定める省令第1条)

労働基準法

土壤汚染対策法

16. その他の情報 連絡先 参考文献

免責事項

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1) 特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)

リンカーンエレクトリックジャパン株式会社 NITE GHS分類公表データ EU CLP Regulation, AnnexVI ECHA Registered substances Database 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常の取り扱いを対象とした ものであります。特殊な取り扱いの場合には、 この点のご配慮をお願いします。